

発行所

公益社団法人  
全日本仏教婦人連盟  
〒151-0051 東京都渋谷区  
千駄ヶ谷4-5-10-205  
TEL 03-5772-0677  
FAX 03-6434-0184  
URL http://jbwf.jp

# 沙羅の樹

Saranoki

No.2

2014年秋号

10月10日発行



ブツダガヤ光明施療院のオープンが昭和五九年（一九八四年）十二月。この冬で満三十年を迎えさせて頂きます。

この間、光明施療院の使命である無料診療・施療の事業実施へのサポートはもとより、そもそも施療院施設

当時の国際仏教興隆協会の理事長であられた巖谷勝雄上人から、『山本杉先生（当時の理事長）がブツダガヤの医療事情を聴かせて欲しいといわれている』ということになり呼ばれました。

私がのちに光明施療院と命名されるブツダガヤ無料診療所建設案のお話を伺いましたのは昭和五十二年秋のことでありました。

ちょうど私は帰国中で、

まさに遠路はるばるの果ての地、短い涼季に訪れるだけの観光客からの収入は、あの手の手に目ざとい商人階級が根こそぎ…という社会構造でしたから、小作人中心の一般の経済活動は申上げにくいことですが、



光明施療院には毎日200人近くの人が訪れる

この文を書いていても子を待つ身として未だもって胸の詰まる、それが現実でした。

先生は『もうそれは民位の問題。でも、長いこと掛るでしょうけど、まず火を消す事ね。消しましょう』と、

## 光明施療院のあるブツダガヤ



公益財団法人  
国際仏教興隆協会医療局長  
印度山日本寺管理局长

大工原彌太郎

設そのものを建設ご寄贈頂いた仏婦様には、過去三十年・累計一〇〇万人に及ぶ施療の恩恵に浴した患者たち共々、私ども印度山日本寺をお預かりする国際仏教興隆協会が、まさに慈母のご恩を頂き続けて参った三十年と申せましょう。心より感謝申し上げます。

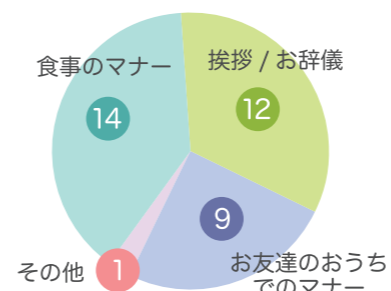
当時のブツダガヤは寒村で、外国のお寺もビルマ・タイ・スリランカ・チベットと日本寺それに空き寺にチベット人家族が住み着いていた中国寺と、わずか六ヶ寺。交通の便も悪く、カルカッタかニューデリーどちらか発の夜行列車で一晩あるいは丸一昼夜かけての、

人夫仕事と売春で成りたっていた状況でした。一般的な医療状況の説明に続き、詳しい再録は憚られますが、売春経済の実態に触れる中で『ほぼ十二才以上の娘なら五ルピー、それ以下六才ぐらいまではチャパティ一枚の値段です』と申上げると山本先生は絶句、もともと迫力のある先生の顔色の変わりようは表現に窮するほどでしたが、私が続けて『情けない、というより悲しいのは、その娘たちの稼ぎで他の村に同様の娘を買いに行く親たちがいる、性病を蔓延させている社会から生ずる疾病です』と、当時十年目になるブツダガヤでの私の診療経験から数字をあげてお話ししました。

## 私たちの活動報告

### マナー講座レポート

Q. 参加して役に立ったマナーは？



#### 【参加者の感想】

★お箸の持ち方は家で教えてもなかなか上手にならなかったのに、コツを教えてくださいただで上手に使えるようになりました。

★訪問先での靴のそろえ方を、口で教えていただくだけでなく実際に行えたのがとても良かったです。

過去3回のマナー講座の参加者から集めたアンケートをまとめた結果、「もっと正しい食事のマナーについて教えて欲しい」という要望が多かったため、今後、食事マナーの講座を検討していこうと考えています。(伝統和文化マナーマイスター協会)

#### 編集後記

◆天災・人災が次から次へと押し寄せて来ては、すぐに忘れ去られていく。支援活動はどこまで、追いついていけるのでしょうか？(美照)

◆正月と七月に機関誌「全佛婦」を、四月と十月にニュースレター「沙羅の樹」を発刊します。読みやすい誌面作りに励んでいます。ご高覧よろしくお願ひ致します。(広報委員一同)

7月

- 1日 お盆まつり（銀座プロッサム中央会館ホール）
- 4日 浄土宗寺庭婦人会長との打合せ（明照会館）
- 7日 広報委員会打合せ・「沙羅の樹」創刊号発行・発送
- 16日 事務打合せ
- 22日 第3回役員会（天王寺）  
第3回マナー講座
- 30日 （公財）全日本仏教会第1回支援検討会議出席（明照会館）

8月

- 1日 青山善光寺訪問  
（公財）全日本仏教会第1回社会・人権審議会出席（明照会館）
- 4日 比叡山宗教サミット27周年「世界平和祈りの集い」（比叡山延暦寺）
- 5日 三千院門跡訪問（京都）
- 14日 第49回戦争犠牲者慰霊並びに平和記念式典参列（千鳥ヶ淵戦没者墓苑）
- 18日 事務打合せ
- 20・21日 第6回東日本被災地訪問（石巻）

9月

- 4日 事務打合せ
- 10日 第4回役員会（天王寺）  
第84回文化講座（〃）
- 30日 （公財）WCRP 第3回女性部会委員会出席（中野・普門館）

### information

#### 第61回 全日本仏教婦人連盟大会

【日時】 10月21日（火）11時  
【会場】 東京會館本館11階  
「ゴールドルーム」  
東京都千代田区丸の内3-2-1  
TEL 03-3215-2111

#### インド日本寺記念法要の旅

【日程】 11月18日～25日（8日間）

#### 新年修正会

【日時】 平成27年2月13日（金）  
【会場】 ザ・プリンスパークタワー東京  
ご詠歌披露（予定）

ご冥福をお祈り  
申し上げます

- ◆磯山敏子姉（会員）
- ◆宮林昭彦師（元賛助会員）
- ◆辻田正純尼（大本山善光寺大本願内侍部長）
- ◆船岡芳昭師（賛助会員）

### 文化講座日程

#### 第85回

【日時】 10月15日（水）  
午後2時 天王寺  
【内容】 写経会

#### 第86回

【日時】 11月5日（水）  
【内容】 満願寺参詣  
（千葉県銚子市）

### 母子で習得マナー講座

#### 第4回

平成27年1月25日（日）

#### 第5回

平成27年3月25日（水）



第84回文化講座  
よろこびと感謝と敬いの心  
9月10日(水)

今回は、法相宗大本山薬師寺執事・薬師寺東関東別院潮音寺住職の生駒基達師に「よろこびと感謝と敬いの心」について、様々な例を挙げながら分かりやすく次にお話いただきました。

最近、日本各地で大きな自然災害や、人が人を傷つける事件が多くなってきたように思われます。

度々起こる自然災害は異常気象によるものといわれていますが、そもそもその原因となる環境破壊や地球温暖化は人が利便性を求めた結果なのです。

それなのに人はまだ生活に不満を感じています。しかし、幸せはお金や物でははかることはできません。

故薬師寺管主の高田好胤師もかつて、「物で栄え心で滅ぶ」こととなつてはいけな、とおっしゃっておられました。

たとえば食事についていうと、一粒のお米にも命があり、多くの人々の手間を経ていることを思い、よろこびと感謝の心を持たなければなりません。

また、法相宗でよく唱えられる「仏説父母恩重経(ぶもおんじゅうきょう)」には、父母から受けた次のような十の恩が説かれています。①母のお腹の中で育てていただく ②母は出産の時に苦しまれ ③その父母も子が生まれると苦しみを忘れられ ④母のお乳によって育てていただく ⑤父母はおねしょで濡れた布団にも寝て下さる ⑥おむつを取り替えて下さる ⑦安全なものを食べさせて下さる ⑧子のためなら悪業さえ行なう ⑨子の帰りをいつも心配する ⑩亡くなつても見守って下さる。

私達はそのような父母の深い恩を思い、自分達の子どもにも親を敬い感謝する姿を見せ伝えて行くことが大切なのです。とても優しいお顔で、また穏やかな口調で話される生駒師のお言葉は、私達の心の奥深くに沁み入りました。



私たちは、八月二十日、二十一日に東日本の被災地に行つてまいりました。初日は人里離れた森林公園の中にある雄勝仮設住宅を訪ねました。山間とはいえず、夏の日差しが容赦なく照りつけており、木

第六回 東日本被災地訪問  
(静岡・無憂樹の会有志)



写経の功德

印刷技術がなかった時代、仏さまの教えを記した経典を書き写すことは、僧侶の大切な修行の一つでした。数少ない貴重な経典を学んだり、人々に伝えたりするために必要なことであり、大きな功德があると説かれています。一文字一文字を仏さまと思い、願いを込めながら丁寧に浄書することによって、身心が集中し、雑念が取り払われ、心の安らぎが得られます。写経は誰もが取り組める身近な実践行なのです。

陰では女性たちが寄り添うようにひっそりとテーブルを囲んでいます。そのあまりの静けさに一瞬言葉を失つてしまいました。午後集会所でお抹茶とお煎茶を味わっていただき、お部屋に飾るお花と一緒にいきました。雄勝音頭を皆で手拍子で楽しみ、私たちはお返しに静岡の茶つきり節をご披露しました。歌や踊りそしておしゃべりと、和やかに午後のひと時があつという間に経ちました。被災された方々のそれぞれの悲しみ、今後の不安は計り知れないものがありま



す。それでもお互いを支え合いながら一歩また一歩と前を向いて進んでいる姿に胸が熱くなり、また会いましょう！と何度も声をかけ合いました。次の日は被災された西光寺にお参りし、ご住職は災害の悲惨さ、むごさに苦しむお檀家のために、寺との架け橋として力を尽くされています。そして多くの犠牲者を出した大川小学校の校歌が刻まれた碑。今の石巻の海は青く静かに風ぎ、田んぼには稲穂が頭を垂れておりました。復興を心からお祈りいたします。

写経にご協力を

◆お写経の奉納金は光明施療院の療費になります。皆さまのご協力を切にお願いいたします。  
◆11月18日(火)から25日(火)に日本寺での30周年記念法要参列のための記念仏跡参拝を予定しております。普通の観光旅行とはひと味もふた味も違う意義あるインド旅行になります。まだ募集人数に余裕がございますので、是非ご参加ください。  
◆今まで、写経は「般若心経」一卷(奉納金1000円)のみでございましたが、この度「十句観音経」と「舍利礼文」(奉納金500円)の用紙を新たに加えて、皆さまにお願いすることになりました。字も大きく書きやすいので、お写経に心静かに専念できるのではとの評価もいただいております。用紙、納金方法等につきましてのお問い合わせは、事務局にご連絡ください。また用紙はHPからも印刷できます。

事務局 ☎ 03-5772-0677

即座におっしゃいました。準備期間を経ての診療開始から三十年。ご存知のよう、光明施療院の無料診療はブツダガヤという被災療格差地域の住民を対象とした地域医療ですから、ひとくちに「患者」といつても、それは単数の患者ではなく、家族単位、村単位、地域単位ということになります。従つて各家庭単位でみれば、爺婆親孫と三代、過去三十年間の膨大なカルテもそうした分類になり、ブツダガヤ住民の各家庭はもとより、医学的現場としても、地域保健の過去を分析し未来を検討できる貴重な財産となつており、この蓄積こそが他に無い光明施療院の強みです。いまや当時の九倍の三万八千人の人口となつたブツダガヤ住民と共に心よりの感謝万感を胸に、仏婦様から頂き続けてきたお支えに心底合掌申し上げる次第です。

じゅつつかんのんぎょう しゃりらいもん  
「十句観音経」と「舍利礼文」の和訳

舍利礼文

Table with columns for text and date. Text includes: 舍利礼文, 一心頂礼, 万徳円満, 釈迦如来, 真身舍利, 本地法身, 法界塔婆, 我等礼敬, 為我現身, 入我我入, 仏加持故, 我証菩提, 以仏神力, 利益衆生, 發菩提心, 修菩薩行, 同入円寂, 平等大智, 今將頂礼. Date: 平成 年 月 日. Bottom: 謹写.

【訳】 まごころをこめて、万(よろず)の仏徳を具えられた釈迦如来の、生身の形見である仏舍利を、しかも釈迦如来の本地である法身仏が宇宙に遍く満ちている法界を意味する舍利塔を頭を垂れて礼拝いたします。私どもがこのように礼拝供養しますと、この法身仏は私どものために身を現わして、仏が我が身に入り、我は仏のさとりに入り(仏と我が身とが一体となり)ます。仏の加持力によって、我は仏のさとりを得て、仏の神通力にたすけられて、衆生たちに利益を与えられるのです。衆生もまたさとりを志す心を発して、菩薩の行を實踐し、ともども円寂(さとりの)境地に入ることができます。このような差別のない平等の大智慧者の永遠なる仏徳をおさめた舍利塔に、今まさに心から礼拝供養します。「お経 天台宗」講談社より

【訳】 観世音菩薩さま、諸仏に心から帰命します。私たちは諸仏と同じ因、諸仏と同じ縁で結ばれています。そして仏のさとった法とも相い縁じています。諸仏菩薩のさとりの境地は、永遠に変わらないから常であり、苦しみのない楽であり、我執を離れ、自由で他に拘束されないから真の我であり、煩惱がついて汚れないから清浄なものであります。この常楽我浄の観世音さまよ、朝(あした)に観世音を念じ、夕(ゆうべ)に観世音を念じます。一念一念に観世音の心を思い起こし、一念一念に観世音の心を離れません。

十句観音経

Table with columns for text and date. Text includes: 十句観音経, 観世音, 南無仏, 与仏有因, 与仏有縁, 仏法僧縁, 常楽我浄, 朝念観世音, 暮念観世音, 念念從心起, 念念不離心. Date: 平成 年 月 日. Bottom: 謹写.